ツインソーラーツインバッテリー
カーロケーターシステム＆
350.1MHz受信機能搭載
GPSレーダー探知機

GP-980WSC

取扱説明書/保証書

この度はベストワンシリーズをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び操作手順が説明されております。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。尚、読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

目　次　　ページ

COMTEC

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

警告： 警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

注意： 注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

警告

- ●本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ●運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください。
- ●本製品は電子部品を使用した精密機器ですので衝撃をあたえないでください。故障の原因となります。
- ●本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。又、自動車の機能（エアバック等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- ●本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理をご依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
- ●本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ●本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。

注意

- ●フロントガラス上部にスモーク／ブロンズ等がある車種は本製品の取付け位置によってはソーラーパネルへの光量不足の為、正常な充電ができない場合があります。その場合、本製品の取付け位置を変更するか付属のシガープラグコードをご使用ください。
- ●本製品にはお買い上げの日から1年間の製品保証がついています。
（但し、内蔵電池、吸盤、両面テープ等の消耗品は保証の対象となりません）
- ●本製品の近くに他のGPS機能を持つ製品を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
- ●GPS衛星の電波を受信できない下記の様な場所では、本製品のGPS機能が働かないため、GPSによる警報、メモリー機能が正常に働きません。
（トンネル・地下道・建物の中・ビル等に囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・木々の多い森の中等）
- ●車載テレビ等でUHF56チャンネルを受信（設定）しているとGPS衛星を受信できない事があります。そのような場合、車載テレビ等のチューナー部から離しGPS衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。
- ●本製品のレーダー受信機能はXバンド（10.525GHz）Kバンド（24.200GHz）のみ有効です。
- ●本製品の受信機能はカーロケーターシステム（407MHz帯）取締り用連絡無線（350.1MHz）のみ有効です。
- ●本製品のGPS警報は予め登録されたオービス・Nシステムとお客さまが任意で登録した位置のみ有効です。
- ●一部ナビゲーションシステムで漏れ電波が取締り機と同じ周波数の場合、本製品レーダー受信機能が受信する事があります。
- ●取締り機と同一周波数のマイクロ波を使用した機器（下記）周辺で、本製品レーダー受信機能が受信する事がありますが、誤作動ではありません。予めご了承ください。（自動ドア・防犯センサー・車輌通過計測器・気象用レーダーの一部・航空用レーダーの一部）
- ●一部、断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入り等）、ミラー式フィルム装着車の場合GPS衛星の電波が受信できない場合があります。
- ●内蔵バッテリーは約5年が交換の時期となりますが、使用状況によっては寿命が短くなります。
- ●部品の交換、修理、パーツ購入に関しましては、販売店にお申し付けください。
- ●本製品を厳寒地でご使用になる場合、内蔵バッテリーの性能が十分に発揮できない場合があります。付属のシガープラグコードをあわせてご使用ください。
- ●環境保護と資源の有効利用をはかる為、寿命となった本製品、内蔵バッテリーの回収を弊社にて行っています。

本製品を取付けての違法行為（速度違反等）に関しては、製品動作の有無に関わらず弊社では一切の責任を負いかねます。

GPS機能について

●GPSとは
「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

●GPSレシーバーの警報システム
衛星からの電波を受信して現在位置・移動方向・移動速度を算出し、あらかじめ登録してあるオービス・Nシステムのデーター（座標データー等）とを比較演算し、オービス・Nシステムに接近すると警報を行います。又、本製品内臓のメモリー（記憶装置）に任意の警報ポイントを100件登録する事が可能です（ユーザーメモリー）。

●間欠動作システム
本製品をソーラーバッテリーでご使用の場合、長時間使用を行えるよう小電力設計をし、GPS受信を間欠動作させることでより一層、消費電力の軽減を行っております。その為、GPS機能（警報、登録等）において、若干の時間差が発生する場合があります。**また、シガーコードを接続して有線使用して頂ければ、GPS受信を連続動作で行う為、より安定した状態でのご使用が可能です。**

●衛星受信開始時間／受信復帰時間
GPSレシーバーの電源オンから衛星受信を行う迄の時間と走行中、トンネル・高架下・屋内等で一時的にGPS衛星が受信できない場所から受信できる場所へ移動した時、再受信する迄の時間。
（高架下等にオービスがある場合は衛星受信ができず、警報が行えない場合があります。注意してください。）

受信開始時間

衛星受信できない状態	衛星受信迄の復帰時間
10秒以下	2秒程度
10秒～60秒	5秒程度
60秒以上	10秒以上

受信復帰時間

前回、電源OFFしてからの時間	衛星受信迄の時間
～5時間	～10秒程度
～数日間	～1分程度
ご購入後又は、1ヶ月程度以上	～5分程度

※参考数値です。実際の使用される場所によっては時間が変わります。

●衛星データーのリセット
本製品は、一旦GPS衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネル等で衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を速める為です。また、まれにGPS受信が長時間に渡ってできない場合、以下の操作で衛星データーをリセットしてください。

衛星データーリセット	本製品の電源オフ状態で、OBISスイッチ、T/M/Bスイッチを同時に押したままで電源をオンします。

●GPS測定誤差について
本製品の測位計測機能は衛星の受信状態等により、約50m程度の測定誤差が出る場合があります。

●GPS衛星受信と車載テレビチューナー
車載テレビ等でUHF56チャンネルを受信（設定）しているとGPS衛星を受信できない事があります。そのような場合、車載テレビ等のチューナー部から離しGPS衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

●登録データーについて
データー作成年度・バージョンはパッケージ及び、本製品に記載しています。
（注）今現在でも新たにオービス・Nシステムが増設されており、又、調査箇所以外にもオービス・Nシステムが設置されている可能性があります。お車を運転するときは安全の為、必ず法定速度内で走行してください。

●登録データー最新バージョンへの書き換え
・本製品の登録データーは最新バージョンへの書き換えが可能です（有料）。
・最新バージョンデーターのリリースについては、販売店店頭・コムテックホームページにてお知らせ致します。（http://www.e-comtec.co.jp）

各部の名称（製品本体）

※取扱説明書内のイラストと実際の製品は一部形状等が異なる場合があります。

各部の名称（梱包内容）

ソーラーバッテリーステー（1個）

シガープラグコード（1個）

吸盤（2個）

ゴムパット（2個）

ご使用にあたって

ご使用前に必ず十分な充電を行ってください。

●本製品は、商品出荷時には検査用予備充電のみされており、長時間、充電しないとバッテリーが自然放電します。初めてご使用になる時は必ず付属のシガープラグを使用し、**本製品の電源をオフの状態でエンジンをかけて6時間以上充電してください。**（充電は断続的に行う事も可能ですが、目安として10時間以上充電してください）

●通常の使用状況においてソーラーパネルの発電量と回路消費電力のバランスがとれるように設計されています。ただ、下記ような場合、発電量が不足しローバッテリーサイン（内蔵バッテリー充電不足）が表示される事があります。もしこのような症状が現れた場合、付属のシガープラグコードを使用して定期的に充電を行ってください。

1.屋内駐車場・ガレージ等、太陽光の直接当たらない場所での長時間駐車。
2.冬季・梅雨時等、曇りの日が続き日照時間が少なくなる。
3.高速道路・交通量の多い道路・鉄道の線路近く等、絶えず振動を受けて動作状態になる。
4.夜間走行の頻度が多い。

●本製品に搭載しているGPS受信機能は、従来のレーダー探知機に比べより多くの電力を必要とし、ご使用条件によっては電池の消費が早い場合があります。また、ソーラーバッテリーで動作時は全ての受信機能を間欠動作しますが、付属のシガーシプラグコードを接続してご使用する場合は連続動作となり、より安定した状態でのご使用が可能です。

ローバッテリーサイン

●ローバッテリーサイン…内蔵バッテリーの充電量が低下した場合、2段階の表示でお知らせします。（下記表参照）

内蔵バッテリー状態	ランプ	機能
充電40%以下	衛星ランプ：赤点滅	GPS受信機能を停止 ブザー音（約3秒：ブップ…）
充電20%以下	衛星ランプ：赤点滅 ロードランプ：消灯 感度ランプ：消灯	GPS受信機能を停止 レーダー受信機能を停止 カーロケ／350.1受信機能を停止 ブザー音（連続：ブッ・ブッ…）

充電の方法

❶ 製品本体の電源ジャックに付属のシガープラグコードを差し込みます。

❷ 車輌シガーソケットに付属のシガープラグコードを差し込みます。

❸ 車輌のエンジンを始動した状態で充電を行ってください。

取付け方法

本製品お取付の前に

・フロントガラス上部のスモーク・ブロンズ処理部付近へのお取付けは、正常な充電ができない場合があります。付属のシガープラグをご使用ください。
・フロントガラスがUVカットガラス等の場合、ソーラーパネルへの光量不足の為、正常な充電ができない場合があります。付属のシガープラグをご使用ください。
・運転や視界の妨げにならず、車輌の機能（エアバック等）に影響のない場所に取付けてください。
・GPSアンテナ上方向、前方向に遮蔽物があるとGPS衛星からの電波が受信できなくなります。取付け位置には十分注意してください。
・道路に対して平行、レーダー受信部を進行方向に向けて取付けてください。

ステーの取付け方法

❶ ソーラーバッテリーステー内のコネクターを本体裏面のソケットに差し込みます。

（注）コネクターの向きを逆に差し込むと破損する場合があります。必ず、向きを確認して確実に差し込みを行って下さい。

❷ ステーをゆっくりと矢印方向にまわし向きを調整します。

（注）ステーを逆方向に動かしたり、無理に動かしたりした場合、破損する恐れがあります。

取付け方法

お車への取付け方法

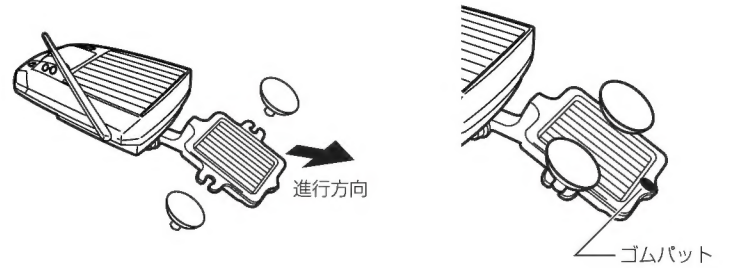
・道路に対して平行、レーダー受信部を進行方向に向けて取付けてください。
・レーダーアンテナ部前方に金属等、電波を遮断するものが無い場所に取付けてください。
・ソーラーパネル全面に太陽光が当たる場所に取付けてください。

フロントガラスへの取付け

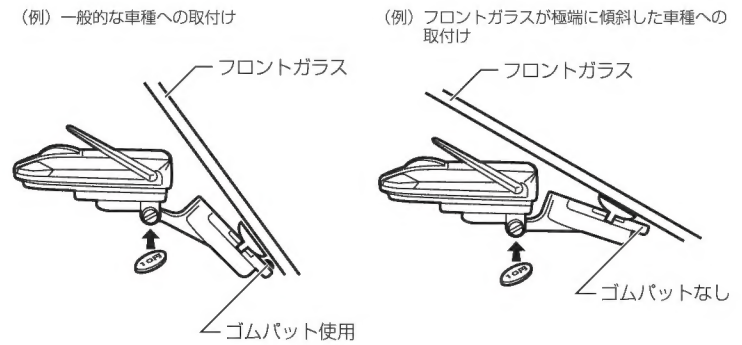
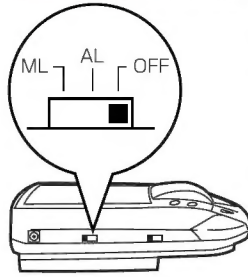
❶ 付属の吸盤を2個ソーラーバッテリーステーに取り付けます。

（注）取付け面の汚れを十分に拭き取ってから取付けてください。

❷ 付属のゴムパットをソーラーバッテリーステーに取付けます。

（注）フロントガラスの角度が極端に低い車種に本製品を取付ける場合、ゴムパッドを使用しないで取付けを行ってください。

❸ フロントガラスにあわせて角度を調整し取付けます。
調整ネジをマイナスドライバー、コイン等で緩めてから調整し、取付け後調整ネジを確実に締めてください。

（例）一般的な車種への取付け

（例）フロントガラスが極端に傾斜した車種への取付け

機能と操作方法

電源スイッチ

●本製品は電源スイッチと警報音選択スイッチを兼用しています。
●電源スイッチを操作する時は、他のスイッチを押さないように注意してください。
●電源スイッチ設定後、本製品に軽く振動を加えると感度ランプが点滅し、電源オン状態となります。
●電源ON後、数秒〜数分（P3）で衛星からの電波を受信し衛星ランプが緑点滅します。

スイッチ位置	電源	警報音
OFF	オ フ	―――
AL	オ ン	アラーム音（電子音）
ML	オ ン	メロディー音

（注）長時間、本製品をご使用にならない場合は電源スイッチをOFFにしてください

オートパワーオフ機能

●LSC-V機能の設定（P10)を行う事で車輌振動を検出し、エンジン停止で駐車時等、振動の無い状態が続くと自動的に本製品の電源がオフします。
●オートパワーオフ状態の時、エンジン始動や、走行振動を検出した場合、自動的に本製品の電源がオンします。
※振動や騒音の激しい場所に駐停車している場合は、本製品が振動を検知して電源がオフしない場合があります。その場合、電源スイッチで電源をオフしてください。
※車種によっては、走行中でも低速走行時や停車時に振動が検出できない状態が続き、振動検出が行えない場合は、オートパワーオフ機能が働きます。

衛星受信ランプ

●衛星受信ランプ…GPS衛星の受信状態により下記表のように衛星ランプが緑点滅します。また、バッテリー残量が減った場合GPS機能を自動的にオフし衛星ランプが赤点滅を行います。（P6）

ランプ	受信状態
緑点滅	3機以上の衛星を受信
赤点滅	バッテリー電圧の低下 GPS機能を自動オフ
消灯	衛星の正確な受信ができていない

※電源スイッチ操作後または、オートパワーオフ復帰後、最初に衛星を受信した場合は下記音声アナウンスを行います。

「ピンポーン　衛星を受信しました」

（注）本製品が正確な測位計測を行う為には、3機以上の衛星を受信する必要があります。受信衛星数が2機以下の場合は、全てのGPS機能は作動しません。

機能と操作方法

LSC－V機能の設定

●LSC-V機能とは…
ロー・スピード・キャンセル・バイブレーションの略称、内蔵バッテリーの長時間使用を可能にする為、駐停車時と走行時の振動差を検出し、駐停車時には電源をオフし無駄な警報をカットし、走行時は電源をオンする事で内蔵バッテリーの節電を行います。また、一定時間の無振動状態がつづいた場合、電源を自動的にオフします。

❶ 本製品の電源をオン状態にします。

❷ アイドリング状態（駐停車時）で感度ランプが消灯し、走行状態で点滅するよう下記表を参照し車輌にあった状態にLSC-Vスイッチを設定してください。
（注）目安として走行時に電源オン（感度ランプ点滅）となり、駐停車時に電源オフとなる位置に設定してください。

LSC-Vスイッチ	振動検出感度	車輌タイプ（目安）
1	低	ディーゼル
2	中	ガソリン／ディーゼル
3	高	ガソリン

❸ LSC-V作動時は感度ランプが消灯し、警報音がミュート（消音）します。
※各警報ランプは通常通り動作（点滅・点灯）します。
カーロケ警報音、350.1警報音もミュート（消音）します。

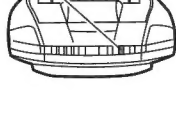
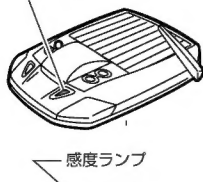
注・車輌振動が極端に大きな車や、駐停車時、走行時の振動差が小さい車はLSC-V機能が正常に働かない事があります。
・本製品の取付け位置（フロントガラス、ダッシュボード等）によっても振動の検出度合いが変わる事があります。

機能と操作方法

レーダー受信感度の設定

●本製品はレーダー受信の感度をLOW（ロー）.HI（ハイ）.S-HI（スーパーハイ）の3段階に手動で設定するマニュアル設定機能と、走行振動を検出して適切な受信感度を自動設定するASC-V機能とがあります。
※商品出荷時はマニュアル設定・S-HI（スーパーハイ）に設定してあります。

マニュアル設定機能

SENSスイッチを2秒以上押す毎に（マニュアル設定機能 ⇄ ASC-V機能）と切替ります。

❶ 本製品を電源オン状態にします。

❷ SENSスイッチを2秒以上押し、マニュアル設定機能に切替えます。（アラーム音が「ピッピッ」と鳴ります）

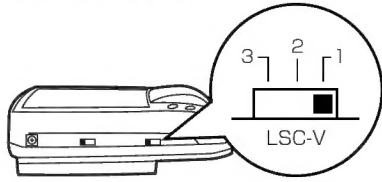
❸ SENSスイッチを押す毎に「S-HI→HI→LOW」の順に受信感度が切替ります。
下記表を参照し最適な受信感度を設定してください。

感度ランプ	受信感度	適切な走行場所	走行状態
赤	LOW（ロー）	市街地	低速走行
橙	HI（ハイ）	郊外地	中速走行
緑	S-HI（スーパーハイ）	高速道路	高速走行

ASC-V機能

ASC-Vとは… オート・センシティブ・コントロール　バイブレーションの略称で、走行中の速度変化による車輌振動を検出し、適切なレーダー受信感度を自動設定する機能です。

SENSスイッチを2秒以上押す毎に（マニュアル設定機能 ⇄ ASC-V機能）と切替ります。

感度スイッチ
(SENS)

❶ 本製品を電源オン状態にします。

❷ SENSスイッチを2秒以上押し、ASC-V機能に切替えます。（アラーム音が「ピッピッピッ」と鳴ります）

❸ ASC-V機能設定状態で走行すると、レーダー受信感度が走行状態にあわせて自動設定されます。

感度ランプ

機能と操作方法

テスト／ミュート／バッテリーチェック機能

●各ランプ、アラーム音の動作確認を行うテスト機能
●取締り機の位置確認後、不要な警報音を消音するミュート機能
●バッテリーの充電状態を確認するバッテリーチェック機能
（警）運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください

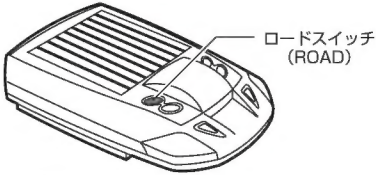
機能	操作
テスト機能	❶ 本製品を電源オン状態にします。 ❷ 警報を行っていない状態で、T/M/Bスイッチを押します。 ❸ 約18秒間各ランプ、アラーム音がテスト動作します。 ※ テスト中に再度スイッチを押すと、テストは終了します。
ミュート機能	❶ 本製品が警報中にT/M/Bスイッチを押します。 ❷ レーダー警報、カーロケ警報、350.1警報は電波を受信している間、GPS警報は対象とする取締り機を通過する迄ミュート（消音）します。 ※ ミュート作動中はミュートランプが赤点滅します。
バッテリーチェック機能	❶ 本製品を電源オン状態にします。 ❷ 警報を行っていない状態で、T/M/Bスイッチを押したままにします。 ❸ バッテリー充電状態を下記表のように約3秒間レベルメーターで表示します。

レベルメーター	充電状態	GPS受信機能
4つ点灯	充電80%以上　十分充電がされています。	GPS受信を行います。
3つ点灯	充電60%　充電されています。	GPS受信を行います。
2つ点灯	充電40%以下　充電をお勧めします。	GPS受信を停止します。

注　上記表はあくまでも目安です。電池の特性上、短時間の充電でも満充電（4つ点灯）する場合がありますが、必ず規定時間の充電（P6）を行ってください。

機能と操作方法

ロードセレクト機能

●高速道路上のオービス・Nシステムのみ警報を行う「ハイウェイモード」、一般道路上のオービス・Nシステムのみ警報を行う「シティーモード」、高速・一般道路両方のオービス・Nシステムの警報を行う「オールモード」を選択します。
（警）運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください

❶ 本製品を電源オン状態にします。

❷ ROADスイッチを押す毎に（→オール → ハイウェイ → シティ→）の順に設定されます。（出荷時は「オールモード」に設定してあります）

❸ 下記表を参照し、走行条件にあわせたロードセレクトモードを設定してください。

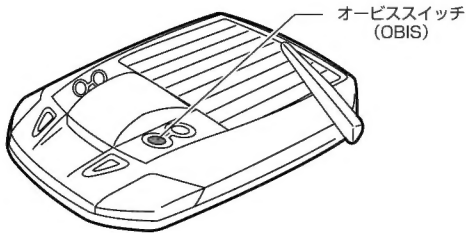
ロードセレクトモード	ロードセレクトランプ	警報を行う道路
オール	**橙** 点滅	一般道路／高速道路
シティ	**赤** 点滅	一般道路のみ
ハイウェイ	**緑** 点滅	高速道路のみ

●以下の道路を高速道路（ハイウェイモード）として登録してあります。
・道央自動車道・札樽自動車道・秋田自動車道・東北自動車道・関越自動車道・上越自動車道・常磐自動車道・東関東自動車道・館山自動車道・東名自動車道・東海北陸自動車道・北陸自動車道・中央自動車道・名神自動車道・近畿自動車道・山陽自動車道・中国自動車道・舞鶴自動車道・米子自動車道・浜田自動車道・四国自動車道・九州自動車道・宮崎自動車道・大分自動車道・長崎自動車道・西九州自動車道・宇佐別府道路・沖縄自動車道・首都高速自動車道・第三京浜・横浜横須賀道路・千葉東金道路・名古屋高速・南知多道路・東名阪自動車道・阪神高速道路・神戸淡路鳴門自動車道・阪和自動車道・第二神明道路・京滋バイパス・第二阪奈有料・西名阪道・福岡都市高速・北九州都市高速・等（2002年11月開通分のみ）

機能と操作方法

オービスポイント追加・削除／オービス警報キャンセル

●**オービスポイントの追加**…本製品に未登録又は、新たに設置されたオービスを**任意に追加**できます。（オービス・Nシステムあわせて100件迄追加登録可能です）
●**オービスポイントの削除**…**任意に追加**したオービスポイントを削除します。
●**オービス警報キャンセル**…オービス警報音のキャンセル設定（消音）を1件単位で行います。
（警）運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください

オービススイッチ
（OBIS）

オービスポイント **追加**	❶ 登録地点を走行中、GPS警報を行っていない時にOBISスイッチを押します。 ❷ 2秒後に「オービス登録しました」とアナウンス音がでれば登録完了です。
オービスポイント **削除**	❶ 登録地点を走行しGPS警報中にOBISスイッチを押したままにします。 ❷ 「オービス消去しました」とアナウンス音がでれば削除完了です。

オービス警報キャンセル **設定**	❶ キャンセル設定地点を走行しGPS警報中にOBISスイッチを押します。 ❷ キャンセル登録した場合及び、キャンセル地点走行時はミュートランプが赤点滅し警報音が消音します。 ※予め登録してあるオービスポイントと、任意で追加したオービスポイントで設定ができます。
オービス警報キャンセル **解除**	❶ キャンセル地点を走行しミュートランプが点滅中OBISスイッチを押します。 ❷ ミュートランプが消灯し、警報音が鳴ります。

機能と操作方法

Nシステムポイント追加・削除／Nシステム警報キャンセル

（注）・本製品出荷時はNシステム警報は一括キャンセルに設定してあります。
・Nシステム警報を設定した場合、バッテリーの消費が早くなります。極力シガーコードを接続してご使用ください。
（警）運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください

●**Nシステムポイントの追加**
…本製品に未登録又は、新たに設置されたNシステムを**任意に追加**できます。（オービス・Nシステムあわせて100件迄追加登録可能です）
●**Nシステムポイントの削除**
…**任意に追加**したNシステムポイントを削除します。
●**Nシステム警報キャンセル**
…Nシステム警報音のキャンセル設定（消音）を1件単位で行います。
●**Nシステム一括キャンセル**
…全Nシステム警報音のキャンセル設定（消音）を行います。

商品出荷時は一括キャンセルが設定してあります。Nシステム警報を行う場合は一括キャンセルを解除してから、ご使用ください。

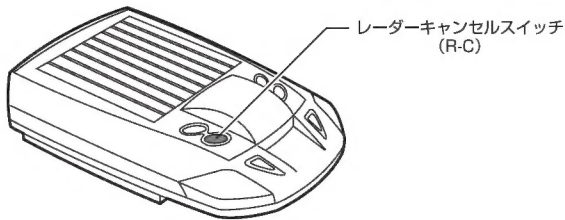
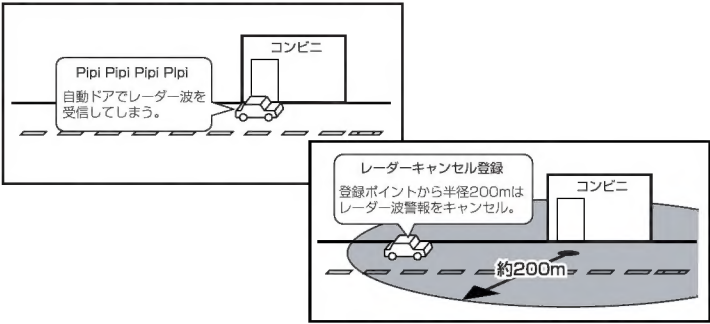
Nシステム警報 一括キャンセル 設定 ※再度、同じ操作で一括キャンセルを解除できます。	❶ 本製品を電源オフ状態にします。 ❷ Nスイッチを押したままの状態で、電源スイッチをオンにします。 ❸ 「ピッ」とアラーム音が鳴り、全てのNシステム警報をキャンセルします。

Nシステムポイント **追加**	❶ 登録地点を走行中、Nシステム警報を行っていない時にNスイッチを押します。 ❷ 2秒後に「Nシステム登録しました」とアナウンス音がでれば登録完了です。
Nシステムポイント **削除**	❶ 登録地点を走行し、Nシステム警報中にNスイッチを押したままにします。 ❷ 「Nシステムス消去しました」とアナウンス音がでれば削除完了です。

Nシステム警報キャンセル **設定**	❶ キャンセル設定地点を走行しNシステム警報中にNスイッチを押します。 ❷ キャンセル登録した場合及び、キャンセル地点走行時はミュートランプが赤点滅し警報音が消音します。 ※予め登録してあるNシステムポイントと、任意で追加したNシステムポイントで設定ができます。
Nシステム警報キャンセル **解除**	❶ キャンセル地点を走行時、ミュートランプが点滅中Nスイッチを押します。 ❷ ミュートランプが消灯し、警報音が鳴ります。

機能と操作方法

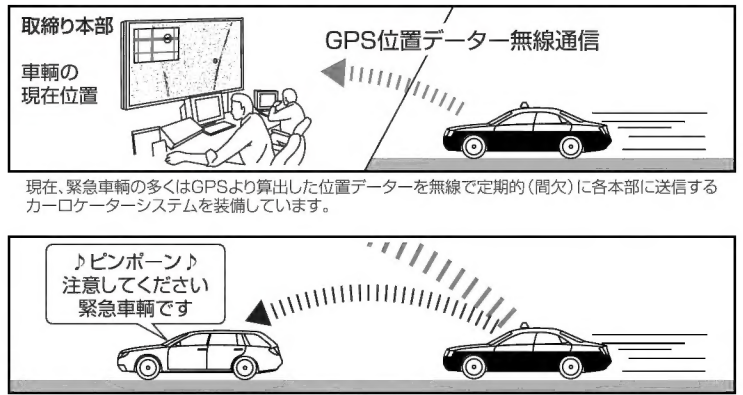
レーダーキャンセル機能

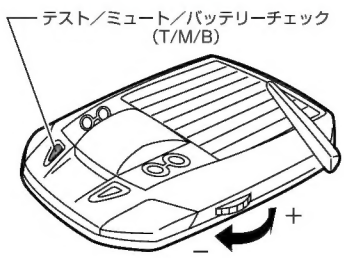
●自動ドア等、レーダー波を受信してしまう場所等を登録すれば、約半径200m内のレーダー警報をキャンセル（消音）します。（登録件数：50件）
（警）運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください

レーダーキャンセルスイッチ
（R-C）

レーダーキャンセル **登録**	❶ レーダー警報時、R-Cスイッチを押します。 ❷ 2秒後に「キャンセル登録しました」とアナウンス音がでれば登録完了です。 ※ レーダーキャンセル登録位置を走行した場合、ミュートランプが赤点滅し警報音が消音します。
レーダーキャンセル **削除**	❶ レーダーキャンセル登録地点を走行時、ミュートランプが点滅中の位置で、R-Cスイッチを押したままにします。 ❷ 「キャンセル消去しました」とアナウンス音がでれば削除完了です。

カーロケーターシステム／350.1MHZ受信機能

●カーロケーターシステムとは…

「無線自動車動態表示システム」と言い、緊急車輛に装備されたGPS受信機より算出した位置データーを無線で定期的（間欠）に各本部の車輛管理センターへ送信するシステムです。本製品は緊急車輛からの電波を受信し、音声で警報を行い。緊急車輛の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

現在、緊急車輛の多くはGPSより算出した位置データーを無線で定期的（間欠）に各本部に送信するカーロケーターシステムを装備しています。

本製品は各本部へ送信している電波を受信し、音声で警報を行い、緊急車輛の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

（注）
○一部地域または、一部緊急車輛には、カーロケーターシステムが装備されていない為、本製品では受信できない事があります。
○カーロケーターシステムは間欠で送信される為、実際の緊急車輛の接近と受信タイミングにズレが生じる事があります。
○緊急車輛は走行状態（緊急走行、通常走行、駐停車）によって、電波の送信時間が変化する為、実際の緊急車輛の接近と受信タイミングにズレが生じる事があります。
○緊急車輛がエンジン停止時は電波の送信を行わない為、本製品での受信はできません。
○送信電波の中継局、受信本部近辺では緊急車輛の接近に関わらず受信する事があります。
○本製品が受信するカーロケーターシステムは、パトカー、覆面パトカーを中心に導入されており白バイ、救急車、消防自動車等には現在導入されておりませんが、将来的には導入する可能性があります。

●350.1MHzとは…

取締り用連絡無線で使用する周波数帯で、速度違反取締りや、シートベルト装着義務違反取締り等で使用することがあります。又、通話内容をコード化したデジタル無線を使用するケースもあり、音声受信ができない場合もあります。

カーロケーターシステム／350.1MHZ受信機能（つづき）

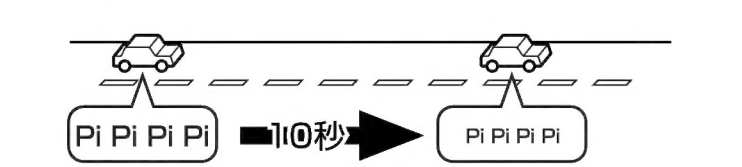
●本製品は、カーロケーターシステム受信機能と350.1MHz受信機能を同じスイッチで設定します。
※カーロケーターシステム受信機能と350.1MHz受信機能の感度を別々に設定する事はできません。

設定	受信感度
LOW	低（約半径300m）市街地等
HI	高（約半径500m）高速道路等

1. CL／350.1スイッチを上記表を参照して適切な範囲を設定してください。
2. アンテナの角度を調整してください。
※アンテナを垂直に立てる程、受信状態が良くなります。

注・カーロケーターシステム／350.1MHzの受信感度（距離）は直線見通し距離で、間に障害物が無い状態での受信距離目安です。
・使用状況、走行状態、周囲の環境等によって受信距離が短くなる場合があります。

オートボリュームダウン機能

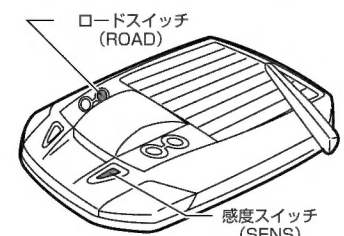
●レーダー波を受信してから（警報開始から）約10秒後に自動で警報音量を小さくします。

オートディマー機能

●昼・夜等、周囲の明るさの変化によって各ランプの光量を2段階で自動調整します。

警報音量の調整

●本製品の警報音量の調整を行います。

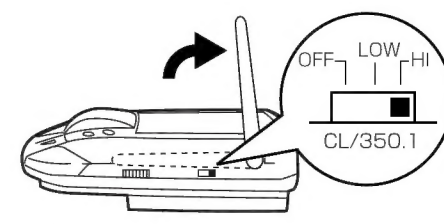
1. 本製品を電源オン状態にします。
2. 警報を行っていない状態で、T/M/Bスイッチを押します。
3. 約18秒間各ランプ、アラーム音がテスト動作します。
4. テスト音を確認しながら、音量ボリュームで適度な音量に調整します。

データーリセット

●全ての登録を行ったデーターをリセット（初期化）し、商品出荷時の状態に戻します。

（警）データーリセットを行うと、オービスポイント・Nシステムポイント・レーダーキャンセルポイント等の登録データーは全て消去します。又、消去したデーターの復元はできません。
（注）・商品出荷時、予め登録してあるオービスポイント・Nシステムポイントのデーターは消去できません。
・追加データーが複数ある場合、リセットするのに多少時間がかかります。

1. 本製品を電源オフ状態にします。
2. Nスイッチ、SENSスイッチの2つを同時に押したままの状態で、電源をオンします。
3. 「ピッ」とアラーム音が鳴りデーターリセットが完了します。

ディスプレーモード（販売店向け機能）

●本製品の一連の動きをデモンストレーションします。
本製品をディスプレーとして展示する場合等に設定を行ってください。

1. シガープラグコードを接続します。
2. 本製品を電源オフ状態にします。
3. SENSスイッチ、ROADスイッチの2つを同時に押したままの状態で、電源をオンします。
※同じ操作を行うと、解除します。

警報対象とする取締り方法

●本製品は以下の4種類の警報を行います。

- **GPS警報**・・・・・・・本機に登録されたオービス・Nシステムに接近した事をGPS機能にて算出し警報を行います。
- **レーダー警報**・・・・・速度取締り機が発信するレーダー電波を受信し警報を行います。
- **カーロケーター警報**・・緊急車輌（パトカー、覆面パトカー）に搭載されているカーロケーターシステムを受信して警報を行います。
- **350.1警報**・・・・・・取締り現場で使用される事のある取締り用連絡無線を受信して警報を行い、会話内容を受信します。

●各取締り機に対して下記表の様に警報を行います。

取締り種類		GPS警報	レーダー警報	カーロケーター警報	350.1警報
オービス式取締り	ループコイル（光電管式含む）	●			
	Hシステム	●	●		
	LHシステム	●			
	レーダー	●	●		
有人式取締り	レーダー		●		
	ステルス		●		
	移動オービス（レーダー）		●		
緊急車輌	レーダー搭載パトカー		●		
	カーロケーターシステム搭載パトカー			●	
	カーロケーターシステム搭載覆面パトカー			●	
その他	取締り用連絡無線350.1MHz				●
	Nシステム	●			

※取締りの種類についてはP24〜P25を参照してください。

警報方法

GPS機能による警報

●オービスポイントに接近した場合、下記の様に警報を行います。
※対向車線上のオービスへの警報は行いません。

警報を行う距離

（注）GPS電波が受信できていない状態では、GPS警報ができません。

約2km※（高速道路のみ）	約1km	約500m	約200m
ボイス警報	ボイス警報	ボイス警報 ※追加登録オービスはボイス警報しません	アラーム／メロディー ※警報時間：約10秒間
コーナーランプ（緑おそい点滅）	コーナーランプ（橙おそい点滅）	コーナーランプ（赤おそい点滅）	コーナーランプ（赤点滅）

（注）※約2km地点での警報は、シガープラグコードを接続した状態でご使用の場合のみ行います。
警報を行う距離は、対象とするオービスからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。
また、近くの平行する道路等を走行中の時も警報を行う場合があります。

ボイス警報の内容

オービス種類	ボイス内容 ※（　）内の言葉はオービス迄の直線距離、高速・一般道等によって変わります。
ループコイル 光電管	ピンポーン　約（2km・1km・500m）先、（高速道路上に）**ループコイル式**オービスがあります。
LHシステム	ピンポーン　約（2km・1km・500m）先、（高速道路上に）**LHシステム式**オービスがあります。
Hシステム	ピンポーン　約（2km・1km・500m）先、（高速道路上に）**Hシステム式**オービスがあります。
レーダー	ピンポーン　約（2km・1km・500m）先、（高速道路上に）**レーダー式**オービスがあります。
トンネル出口付近	ピンポーン　トンネル出口に○○○○式オービスがあります。 ※○○○○部にオービス種類をアナウンスします。
追加登録オービス	ピンポーン　約（2km・1km）先、（高速道路上に）**ユーザー登録**オービスがあります。

アラーム／メロディー警報の内容

200m地点より	ピッピッピッピッ・・ピッピッピッピッ／♪～メロディー～♪

警報方法

GPS機能による警報（つづき）

●Nシステムポイントに接近した場合、下記の様に警報を行います。
※対向車線上のNシステムへの警報は行いません。

警報を行う距離

	約500m（高速道路のみ）	約300m（一般道路のみ）
警報音	ボイス警報	ボイス警報
コーナーランプ	緑点滅	緑点滅

（注）警報を行う距離は、対象とするNシステムからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。

ボイス警報の内容

オービス種類	ボイス内容 ※（　）内の言葉は、高速上のNシステム警報時にアナウンスします。
Nシステム	ピンポーン　この先（高速道路上に）**Nシステム**があります。
Nシステムポイント追加箇所	ピンポーン　この先（高速道路上に）**ユーザー登録Nシステム**があります。

（注）GPS電波が受信できていない状態では、GPS警報ができない場合があります。

カーロケ／350.1MHz警報

●カーロケ及び、350.1MHzを受信した場合下記の様に警報を行います。

受信電波	警報内容	カーロケ/350.1ランプ
カーロケーターシステム	「ピンポーン」 「注意してください。緊急車輌です」	警報時：青点滅
350.1MHz （取締り連絡無線）	「ピンポーン」 「無線を受信しました」 ～無線会話受信～	警報時：青点滅

（注）・350.1MHzのデジタル無線を受信した場合は、無線会話受信が行えません。ノイズ音として出力されます。
・カーロケ／350.1警報中の場合でもレーダー警報又は、GPS警報を優先して行います。

警報方法

レーダー機能による警報

●レーダー式取締り機に接近した場合、下記の様に警報を行います。

項目	内容
レーダー式取締り機迄の距離（電波の強さ）	遠い（弱い）　近い（強い）
レベルメーター（緑）	左から順次点滅　フラッシング
アラーム音（受信感度（ランプ色）：LOW（赤）／HI（橙）／S-HI（緑））	アラーム／メロディーが鳴らない　アラーム／メロディーが鳴る
2ステップアラームのタイミング メロディーの場合は、テンポは変わりません	ピッピッ・・・ピッピッ・・・（スローテンポ・アラーム）　ピッピッ・ピッピッ・ピッピッ（アップテンポ・アラーム） ～ メロディー ～
ステルス波受信	レベルメーターが交互に点滅し、専用アラーム音で警報します。 ピッピッピッ・・ピッピッピッ

（注）・レーダー警報中の場合でも、GPS警報を優先して行います。
・レーダー警報中にカーロケ／350.1MHzを受信しても、警報は行いません。

取締りの種類と方法

レーダー式取締り

●代表的なレーダー式取締りについての説明。

（1）ステルス式取締り方法（有人式取締り）

取締り対象の車が取締り機の近くに接近してから、レーダー波を発射する狙い撃ち的な取締り方式です。走行車輌の先頭や、前方走行車との車間距離が極端に長い場合等に測定されるケースが多く、100m以下の至近距離でレーダー波を受信する場合もあり、注意が必要です。

（2）レーダー式取締り方法（有人式取締り／オービス式取締り）

レーダー波を常時発射し、通過する車輌の速度を測定します。また、オービス式の場合は違反車輌を自動的に写真撮影します。多くの取締り現場に採用しておりレーダー波も500m以上の距離から受信する事ができます。また、オービス式であれば、本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。

（3）新Hシステム式取締り方法（オービス式取締り）

レーダー波を間欠発射し、通過する車輌の速度を測定し違反車輌の写真撮影を自動で行い警察本部の大型コンピュータへ専用回線で転送されます。レーダー波も500m前後で受信します。また、本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。

（4）移動オービス式／パトカー車載式

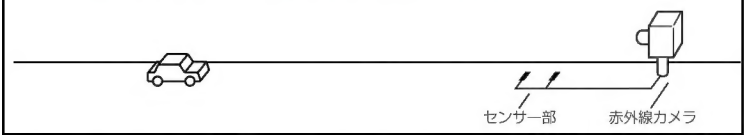
ワンボックス車の後部にレーダー式オービスを搭載し、違反車輌を取締る移動オービスとパトカーの赤色灯を改良して取締り機を搭載したパトカー車載式があります。どちらも出力の強いレーダー波を発射しますので、500m以上の距離から受信する事ができます。（注）移動オービスで、本製品で探知できない光電管式もあります。

取締りの種類と方法

レーダー式以外の取締り

●代表的なレーダー式以外の取締りについての説明。

(1) ループコイル式取締り方法（オービス式取締り）

測定区間の始めと終わりに磁気スイッチ（金属センサー）を路面下、中央分離帯等に埋め込み、通過時間から速度を算出し、違反車輌の写真を撮影します。本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。

(2) LHシステム式取締り方法（オービス式取締り）

速度計測部がループコイル方式で、違反車輌の写真撮影がHシステム方式の取締り機です。従来のレーダー探知機では警報ができませんでしたが。本製品では位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。

(3) 光電管式取締方法（有人式取締り／オービス式取締り）

2点間に置かれたセンサーの通過時間から速度を算出し、違反車輌を特定します。オービス式の場合は本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。

(4) 追尾式取締り方法

パトカー・覆面パトカー・白バイ等が、一定の車輌間隔を保った状態で後方を追尾し走行速度を測定し記録します。

その他

故障かな？と思ったら

●製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症　　状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	●電源スイッチはオンになっていますか？	9ページ
	●十分な充電がしてありますか？	6ページ
	●LSC—V機能は正しく設定してありますか？	10ページ
GPS衛星を受信しない	●本体は正しく取付けされていますか？	7ページ
	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありませんか？	7ページ
警報をしない	●音量は正しく設定してありますか？	19ページ
	●ロード設定は正しく設定してありますか？	13ページ
	●LSC—V機能が作動していませんか？	10ページ
GPS警報をしない場合	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありませんか？	7ページ
	●反対（対向）車線上のオービスではありませんか？	21ページ
	●オービス・Nシステム以外の取締り機ではありませんか？	20ページ
	●Nシステム警報が一括キャンセルしてありませんか？ 本製品出荷時はNシステム一括キャンセルに設定してあります。	15ページ
	●新たに設置されたオービス・Nシステムではありませんか？	3ページ
	●誤って警報キャンセルを設定していませんか？	14.15ページ
レーダー警報をしない場合	●レーダー式以外の取締りではありませんか？	20ページ
	●誤ってレーダーキャンセルを設定していませんか？	16ページ
カーロケーター／350.1MHz警報をしない場合	●対象はカーロケーターシステム搭載の緊急車輌ですか？	17ページ
	●350.1MHzのデジタル無線ではないですか？	17ページ
LSC—V機能が働かない	●LSC—V機能は正しく設定してありますか？	10ページ
ASC—V機能が働かない	●ASC—V機能は正しく設定してありますか？	11ページ
ユーザーメモリーの登録ができない	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありませんか？	7ページ
	●オービス・Nシステムあわせて101件以上を登録していませんか？	14.15ページ
レーダーキャンセルの登録ができない	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありませんか？	7ページ
	●51件以上を登録していませんか？	16ページ

●製品仕様

項目	仕様
電源電圧	DC12/24V
電池容量	450mAh+250mAh （高容量カドニカ電池2個使用）
最小消費電流	10mA
最大消費電流	200mA
受信周波数	GPS（1575.42MHz） Xバンド（10.525GHz） Kバンド（24.200GHz） 取締り用連絡無線（350.1MHz） カーロケーターシステム（407MHz帯）
受信方式	マルチチャンネル12ch ダブルスーパーヘテロダイン
測位更新時間	最短1秒
検波方式	FMトラッキングタイムカウント方式
動作温度範囲	-10℃～60℃
本体サイズ	79.0（W）×110.0（L）×26.0（H）／mm（突起部除く）
重量	280g

本製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更する事があります。予めご了承ください。